

平成26年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月10日

上場会社名 株式会社カンセキ 上場取引所 東
 コード番号 9903 URL <http://www.kanseki.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長谷川 静夫
 問合せ先責任者(役職名) 常務取締役 管理本部長 (氏名) 高橋 利明 (TEL) 028-659-3112
 四半期報告書提出予定日 平成26年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第3四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第3四半期	22,749	0.3	716	△21.8	472	△24.1	285	△19.8
25年2月期第3四半期	22,693	△1.9	916	△13.2	622	△23.5	356	1.9

(注) 包括利益 26年2月期第3四半期 328百万円(△6.4%) 25年2月期第3四半期 351百万円(△3.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第3四半期	19.28	—
25年2月期第3四半期	24.05	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第3四半期	27,275	5,218	19.1
25年2月期	25,741	4,963	19.3

(参考) 自己資本 26年2月期第3四半期 5,218百万円 25年2月期 4,963百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	0.00	—	3.50	3.50
26年2月期	—	1.50	—	—	—
26年2月期(予想)	—	—	—	2.00	3.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,140	4.0	1,020	6.1	670	14.1	360	7.1	24.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年2月期3Q	16,100,000株	25年2月期	16,100,000株
② 期末自己株式数	26年2月期3Q	1,297,263株	25年2月期	1,295,800株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年2月期3Q	14,803,414株	25年2月期3Q	14,804,200株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成25年3月1日から平成25年11月30日まで)におけるわが国経済は、本年度前半において、各種経済対策の効果が本格化するもとの公共投資の増加や、円安・株高によるマインド改善を受けた個人消費の底堅さをはじめとした内需が成長を牽引したものの、直近では、その反動もあって個人消費が横ばい圏内となり、輸出の減少による減速感などから、やや勢いを欠いた状況となっております。このような経済状況のもと、当社は住まいと暮らしを豊かに快適にするための商品とサービスの提供に努め、地域のお客様の生活文化の向上に役立つ「生活快適創造企業」を目指してまいりました。

長引く残暑によって10月中旬頃まで気温の高い日が続くなどの天候要因により、秋冬物商品の動き出しが遅かったことなどから、全体の売上に大きく影響を受けました。短い秋が終わり、冬の訪れとともに朝夕の冷え込みが厳しくなるにつれて、ようやく暖房や防寒に関連する商品の販売が活況を帯び始めるような状況となりました。経費面においては、第1四半期に新規出店した3店舗分(WILD-1:2店舗、オフハウス:1店舗)の販売費及び一般管理費が前年同期に比較して増加しております。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は227億49百万円(前年同四半期比0.3%増)、営業利益は7億16百万円(前年同四半期比21.8%減)、経常利益は4億72百万円(前年同四半期比24.1%減)、四半期純利益は2億85百万円(前年同四半期比19.8%減)となりました。

なお、報告セグメント別の業績は次のとおりであります。

〔ホームセンター事業〕

ホームセンター事業につきましては、天候要因によって、暖房用品などの秋冬物商品の出足が鈍く、販売面において苦戦を強いられましたが、販売促進強化の一環として、10月にスマイルカード10倍ポイントセールを開催することで、売上高の確保に努めました。また、店舗施策としては、11月に小山店(栃木県小山市)の売場改装を実施し、DIY用品や園芸用品などホームセンター商材の品揃えを拡大、強化いたしました。

これらの結果、営業収益は139億72百万円(前年同四半期比2.3%減)、円安や仕入商品の値上げによる仕入れコストの上昇などによる影響から、セグメント利益は4億60百万円(前年同四半期比19.5%減)となりました。

〔WILD-1事業〕

WILD-1事業につきましては、秋の行楽シーズンに向けて、積極的にアウトドア・ライフの提案を行ってまいりましたが、台風などの天候要因などから来店客数が減少し、キャンプやトレッキングなどの主力カテゴリーの売上が伸び悩みました。また、気温の高い日が続いたことで、秋冬物衣料の動き出しが遅くなったことも売上不振の一因となりました。このような環境のもと、WILD-1カード会員様を対象としたセールやクリスマスギフトをターゲットとした企画セールを開催するなどの販売促進策を実行することで、売上高の確保に努めました。

これらの結果、第1四半期における2店舗の新規出店による効果もあり、営業収益は51億80百万円(前年同四半期比7.6%増)となりましたが、同時に販売経費も増加しており、セグメント利益は4億12百万円(前年同四半期比13.4%減)となりました。

〔専門店事業〕

専門店事業につきましては、リユース販売のオフハウス店舗において、買取り強化キャンペーンを実施することで品揃えの充実化に努めながら、貴金属やブランド品の販売促進の一環として、10月下旬に「オータム・バザール」を開催いたしました。それらの結果、売上高はほぼ横ばいに推移したものの、来店客数が増加したことにより、業績は概ね計画通りに推移いたしました。

業務スーパー店舗においては、新規顧客開拓のためのポスティングを継続的に実施したことによる効果が見られるものの、仕入商品の値上げや物流コスト上昇に加えて、ショッピングセンターや大型スーパーの近隣への出店による影響を受けた店舗もあって、売上高はほぼ横ばいに推移いたしました。

これらの結果、営業収益は38億80百万円（前年同四半期比0.4%増）となりましたが、第1四半期におけるオフハウス1店舗の新規出店にともなう経費増加もあり、セグメント利益は1億67百万円（前年同四半期比10.1%減）となりました。

〔店舗開発事業〕

店舗開発事業につきましては、計画通り安定した利益をあげており、営業収益は5億77百万円（前年同四半期比3.9%減）、セグメント利益は1億9百万円（前年同四半期比16.3%減）となっております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、272億75百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億34百万円の増加となりました。主な要因としては、敷金及び保証金の返還による減少1億24百万円の減少要因に対し、現金及び預金の増加7億44百万円、クレジット売上増に伴う売掛金の増加1億円及び新店の増加等による商品の増加7億3百万円の増加要因によるものであります。

負債は、220億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ12億79百万円の増加となりました。主な要因としては、短期借入金の減少16億39百万円、未払法人税等の減少48百万円及び長期預り敷金保証金の減少29百万円の減少要因に対し、支払手形及び買掛金の増加6億70百万円、電子記録債務の増加5億10百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加5億82百万円及び長期借入金の増加11億円の増加要因によるものであります。

純資産は、52億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億54百万円の増加となりました。主な要因としては、配当金の支払74百万円の減少要因に対し、当第3四半期連結累計期間において四半期純利益2億85百万円を計上したことによるものであります。この結果、当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は19.1%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年2月期の連結業績予想につきましては、平成25年4月11日に公表しました業績予想に変更はありません。

※ 上記予想は、現時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	661,948	1,406,104
売掛金	185,352	286,185
商品	4,649,831	5,353,231
その他	612,735	612,102
貸倒引当金	△2,574	△474
流動資産合計	6,107,293	7,657,150
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,847,103	3,946,370
土地	11,772,945	11,772,945
その他(純額)	319,344	260,141
有形固定資産合計	15,939,394	15,979,457
無形固定資産		
	677,837	707,276
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,372,670	2,247,763
その他	644,033	684,024
貸倒引当金	△77	△4
投資その他の資産合計	3,016,626	2,931,782
固定資産合計	19,633,857	19,618,516
資産合計	25,741,150	27,275,667
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,948,356	3,618,680
電子記録債務	—	510,613
短期借入金	5,742,500	4,102,568
1年内返済予定の長期借入金	2,185,522	2,768,030
未払法人税等	126,031	77,904
賞与引当金	—	51,404
ポイント引当金	182,450	192,908
その他	642,804	668,221
流動負債合計	11,827,663	11,990,330
固定負債		
長期借入金	7,162,938	8,263,534
退職給付引当金	691,063	722,478
役員退職慰労引当金	28,340	28,340
資産除去債務	83,597	115,550
長期預り敷金保証金	518,274	488,723
その他	465,789	448,573
固定負債合計	8,950,002	10,067,199
負債合計	20,777,666	22,057,529

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,926,000	1,926,000
資本剰余金	1,864,000	1,864,000
利益剰余金	1,338,976	1,550,342
自己株式	△232,317	△232,567
株主資本合計	4,896,658	5,107,774
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	66,826	110,284
繰延ヘッジ損益	—	77
その他の包括利益累計額合計	66,826	110,362
純資産合計	4,963,484	5,218,137
負債純資産合計	25,741,150	27,275,667

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
売上高	22,693,213	22,749,996
売上原価	16,134,419	16,204,918
売上総利益	6,558,793	6,545,078
営業収入	909,974	880,176
営業総利益	7,468,767	7,425,254
販売費及び一般管理費	6,552,250	6,708,264
営業利益	916,517	716,990
営業外収益		
受取利息	654	711
受取配当金	4,416	5,560
受取保険金	20,166	10,506
その他	6,447	2,300
営業外収益合計	31,684	19,079
営業外費用		
支払利息	269,565	261,529
支払手数料	54,955	1,819
その他	1,192	353
営業外費用合計	325,714	263,702
経常利益	622,488	472,367
特別利益		
固定資産売却益	12,460	—
投資有価証券売却益	—	1,284
賃貸借契約解約益	4,965	—
特別利益合計	17,426	1,284
特別損失		
固定資産除売却損	13,124	2,576
賃貸借契約解約損	73	175
投資有価証券評価損	3,508	6,364
その他	—	0
特別損失合計	16,706	9,117
税金等調整前四半期純利益	623,207	464,534
法人税、住民税及び事業税	289,408	195,306
法人税等調整額	△22,247	△16,157
法人税等合計	267,160	179,149
少数株主損益調整前四半期純利益	356,046	285,385
四半期純利益	356,046	285,385

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	356,046	285,385
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,557	43,458
繰延ヘッジ損益	—	77
その他の包括利益合計	△4,557	43,536
四半期包括利益	351,489	328,921
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	351,489	328,921

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年3月1日至平成24年11月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	ホームセンタ ー	WILD-1	専門店	店舗開発	計				
営業収益									
外部顧客への営業収益	14,300,787	4,816,835	3,866,683	601,137	23,585,444	17,743	23,603,187	—	23,603,187
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	—	—	9,801	9,801	49,050	58,851	△58,851	—
計	14,300,787	4,816,835	3,866,683	610,938	23,595,245	66,793	23,662,038	△58,851	23,603,187
セグメント利益	571,364	476,081	185,910	131,011	1,364,367	7,426	1,371,793	△455,276	916,517

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及び保険代理店事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△455,276千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△455,276千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年11月30日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	ホームセンタ ー	WILD-1	専門店	店舗開発	計				
営業収益									
外部顧客への営業収益	13,972,480	5,180,826	3,880,646	577,617	23,611,571	18,601	23,630,172	—	23,630,172
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	—	—	9,801	9,801	48,557	58,358	△58,358	—
計	13,972,480	5,180,826	3,880,646	587,418	23,621,372	67,159	22,688,531	△58,358	23,630,172
セグメント利益	460,114	412,392	167,213	109,653	1,149,374	15,601	1,164,975	△447,985	716,990

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業及び保険代理店事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△447,985千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△447,985千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。